



弘前公園周辺の 水質改善実験実施中

弘前市は、古くから津軽地方の中心として栄え、そのシンボルともいえる弘前公園は、日本でも有数の桜の名勝地として全国から多くの観光客が訪れます。

そのような弘前公園ですが、弘前城のお堀は以前から水源に乏しく、水質が悪化、周囲へ悪臭を放ち、アオコが大発生するなど、たびたび問題が取り上げられていました。これまで、弘前市が独自に様々な取り組みを実施し水質の改善に努めてきましたが、残念ながら効果が充分ではありませんでした。

問題解決のためには、安定的な水量の確保と水の循環が必要となります。そこで、岩木川の水を導くことによって抜本的解決を図るため、弘前市、青森河川国道事務所、津軽ダム工事事務所の三者が協力し、今回の導水実験が行われることになりました。

11月1日(木)10時の導水開始から2週間が経過したことから、お堀の水を採取し、分析を行っています。導水実験前と比較するとどのような結果になるのか、引き続き経過を見守っていききたいと思います。



導水実験開始直後勢いよく水が湧き出す西濠(上)と
導水実験開始から約1時間が経過した外濠(下)

もし大雨で川がはん濫してしまったらどうなるの?!

この川がもしはん濫したら…? この地域でもし決壊したら…?

自治体の【ハザードマップ】等を利用し、避難経路や避難場所などを日頃から確認しておきましょう